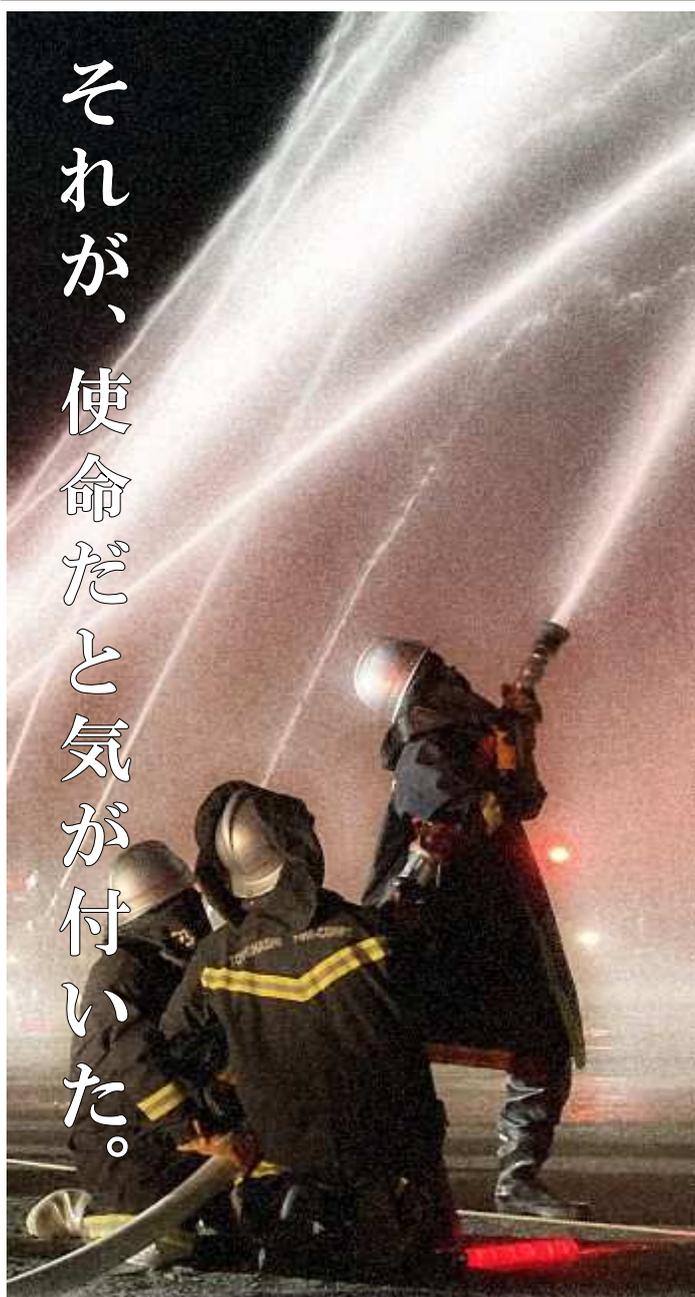


# 消 防 団

それが、使命だと気が付いた。



## 消防団のあゆみ

明治32年3月、公設消防組としての体裁を整え、明治43年1月「豊橋公設消防組」として発足以来、久しきに亘り6組70部、人員3,500人を擁していました。その後幾度か改変が行われ、昭和14年1月警防団令の交付に伴い「豊橋警防団」と改称され、昭和23年3月5日、5消防団23分団、団員1,680人に縮小、次いで消防組織法の一部を改正する法律の施行とともに昭和24年7月1日市条例により「豊橋市消防団」5消防団31分団、団員980人に改組しました。

昭和30年には、町村合併により12消防団49分団、団員1,950人、昭和31年4月1日、12消防団50分団、団員1,950人となり、連合会組織をもって運営の一元化を図りました。

昭和39年10月に設置された豊橋市消防団組織改善協議会の意見に基づき、昭和40年4月には12消防団50分団、団員1,500人に、昭和41年4月には1団8方面隊56分団、団員1,300人の少数精鋭に組織を改善しました。

昭和52年4月1日、市勢の進展に伴って編成された新校区に1分団を新設、つづいて昭和53・54年4月1日、各1分団を新設して1団8方面隊59分団、団員1,300人となりました。

昭和54年4月、市の人口が30万人を越えたことに伴い、諸環境に適応した防災体制確立を図るため同年4月に設置された豊橋市消防団等組織改善協議会の意見に基づく、1校区1分団の原則をふまえ、昭和55年4月1日には、1団8方面隊45分団、団員1,247人に改組し、その後昭和57・59・60・61・63年、平成3年4月1日各1分団を新設、51分団、団員1,325人となりました。

平成4年5月に設置された豊橋市消防団等組織改善協議会の意見に基づき、分団内での警防要員及び交通整理員等の活動体制の改正並びに分団相互の団員数不均衡を是正するための基準（各分団17名、1部増すごとに10名増員）を作り、平成6年度から平成8年度の3年間で団員数を1,269名に改め、平成8年4月1日、1分団を新設、52分団、団員1,286名となりました。平成18・19年度には部の統廃合を図り、団員数を1,261名に改めました。

平成19年度、豊橋市消防団組織等改善協議会を設置し、消防団組織の整備、活動環境の整備、消防団員の確保等検討を重ね、意見書が提出されました。

この意見書に基づき、平成21年度新たに女性分団の創設、機能別団員の導入を図る一方、部の統廃合を行い、平成21年度から令和4年度までに9部の統廃合を行い、53分団77部1,230名となりました。また、消防団員の70%以上が被雇用者であり、消防団活動を行うためには事業所の理解と協力が必要であることから、平成22年度4月から消防団協力事業所表示制度を開始しました。

さらに、平成24年度6月から、福利厚生事業の充実のため地域全体で消防団を支えるという新しい取り組みである「ええじゃないか消防団・消防団応援事業」を開始、平成27年度4月1日より、消防団員のさらなる福利厚生の充実を図るため東三河8市町村と連携し東三河地域全体で「ほの国消防団・消防団応援事業」を開始しました。

平成25年12月には「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が公布・施行されたことを受け、消防団の装備の基準が改正されました。本市においても、警備靴やライフジャケット等の安全装備品、エンジンカッターや油圧ジャッキ等の救助資機材、双方向送受信可能な情報伝達機器としてデジタル簡易無線を配備しました。

さらに、消防団の充実強化に向けた重点取組事項である学生に対する入団を促進するため、平成28年4月1日より、消防団員の任命要件を2歳引き下げ18歳以上とし、消防団活動が就職活動時に積極的に評価されるよう消防団活動認証制度を導入しました。

令和4年度に第5回目となる豊橋市消防団組織等改善協議会を設置し、消防団員の組織編成や消防団活動の在り方などについて協議・検討を重ね、意見書が提出されました。その意見書の内容を踏まえ、令和6年3月には、豊橋市消防団の目指すべき将来像を明確化し、地域、行政など消防団に関わるすべての人と消防団がともに、その実現を果たすことを目的として「豊橋市消防団ビジョン」を策定しました。

# 組 織 ・ 人 員

令和6. 4. 1

1団 8方面隊  
53分団 75部  
定数、団員1,119人  
実数、団員1,044人

本団名 団長及び広報・支援分団  
分団数 1分団

方面隊名 第一方面隊  
分団数 5分団11部  
団員数 137人  
機能別団員数 9人  
合 計 146人

方面隊名 第三方面隊  
分団数 5分団6部  
団員数 102人  
機能別団員数 0人  
合 計 102人

方面隊名 第八方面隊  
分団数 4分団5部  
団員数 68人  
機能別団員数 3人  
合 計 71人

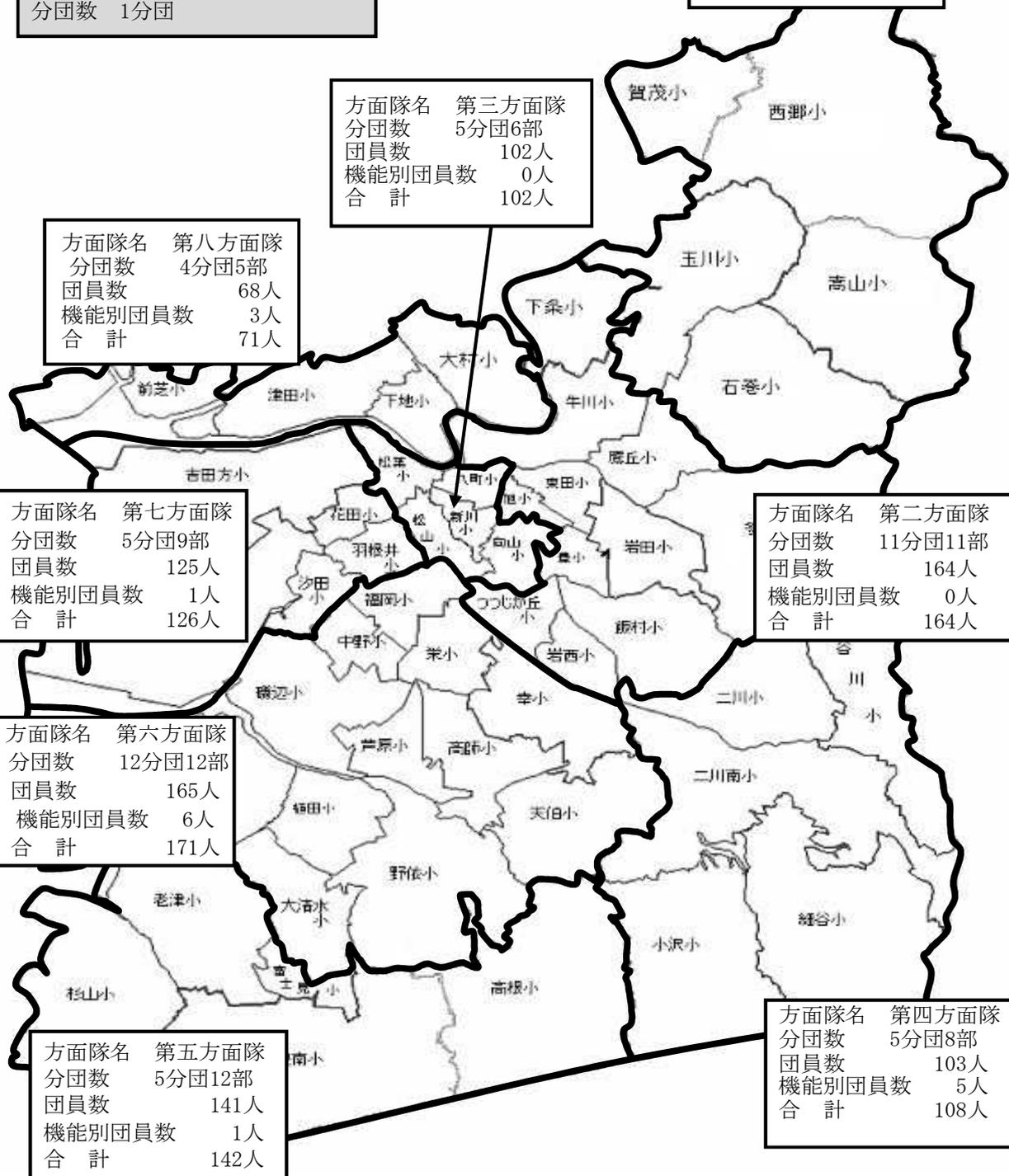
方面隊名 第七方面隊  
分団数 5分団9部  
団員数 125人  
機能別団員数 1人  
合 計 126人

方面隊名 第二方面隊  
分団数 11分団11部  
団員数 164人  
機能別団員数 0人  
合 計 164人

方面隊名 第六方面隊  
分団数 12分団12部  
団員数 165人  
機能別団員数 6人  
合 計 171人

方面隊名 第五方面隊  
分団数 5分団12部  
団員数 141人  
機能別団員数 1人  
合 計 142人

方面隊名 第四方面隊  
分団数 5分団8部  
団員数 103人  
機能別団員数 5人  
合 計 108人



# 消防団人員

(令和6. 4. 1)

方面隊	分 団	人 員									
		計	団 長	副団長 (方面 隊長)	分 団 長		副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別 団 員
					方面隊 副隊長	分団長					
	合 計	1,044	1	8	16	53	53	75	127	686	25
	団 長	1	1								
	広報・支援分 団	13				1	1	1	1	9	
第一 方面 隊	小 計	146		1	2	5	5	11	16	97	9
	本 隊	3		1	2						
	賀 茂 分 団	22				1	1	1	2	14	3
	西 郷 分 団	48				1	1	4	5	34	3
	玉 川 分 団	36				1	1	3	4	25	2
	石 巻 分 団	22				1	1	2	3	14	1
	嵩 山 分 団	15				1	1	1	2	10	
第二 方面 隊	小 計	164		1	2	11	11	11	22	106	
	本 隊	3		1	2						
	下 条 分 団	15				1	1	1	2	10	
	牛 川 分 団	13				1	1	1	2	8	
	東 田 分 団	17				1	1	1	2	12	
	旭 分 団	15				1	1	1	2	10	
	多 米 分 団	15				1	1	1	2	10	
	岩 田 分 団	16				1	1	1	2	11	
	岩 西 分 団	17				1	1	1	2	12	
	つつじが丘分団	9				1	1	1	2	4	
	鷹 丘 分 団	10				1	1	1	2	5	
	豊 分 団	17				1	1	1	2	12	
飯 村 分 団	17				1	1	1	2	12		
第三 方面 隊	小 計	102		1	2	5	5	6	11	72	
	本 隊	3		1	2						
	向 山 分 団	17				1	1	1	2	12	
	新 川 分 団	17				1	1	1	2	12	
	八 町 分 団	17				1	1	1	2	12	
	松 山 分 団	27				1	1	2	3	20	
松 葉 分 団	21				1	1	1	2	16		
第四 方面 隊	小 計	108		1	2	5	5	8	13	69	5
	本 隊	3		1	2						
	二 川 分 団	20				1	1	2	3	13	
	二 川 南 分 団	30				1	1	2	3	20	3
	小 沢 分 団	19				1	1	1	2	12	2
	谷 川 分 団	17				1	1	1	2	12	
細 谷 分 団	19				1	1	2	3	12		

# 消防団人員

(令和6. 4. 1)

方面隊	分 団	人 員									
		計	団 長	副団長 (方面 隊長)	分 団 長		副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別 団 員
					方面隊 副隊長	分団長					
第五方面隊	小 計	142		1	2	5	5	12	17	99	1
	本 隊	3		1	2						
	豊南分団	43				1	1	4	5	32	
	高根分団	30				1	1	3	4	21	
	老津分団	25				1	1	2	3	18	
	杉山分団	25				1	1	2	3	18	
富士見分団	16					1	1	1	2	10	1
第六方面隊	小 計	171		1	2	12	12	12	24	102	6
	本 隊	3		1	2						
	福岡分団	15				1	1	1	2	10	
	栄分団	9				1	1	1	2	3	1
	磯辺分団	16				1	1	1	2	9	2
	大崎分団	17				1	1	1	2	12	
	高師分団	16				1	1	1	2	10	1
	植田分団	15				1	1	1	2	10	
	大清水分団	12				1	1	1	2	7	
	野依分団	15				1	1	1	2	10	
	天伯分団	16				1	1	1	2	10	1
幸分団	12				1	1	1	2	6	1	
芦原分団	15				1	1	1	2	10		
中野分団	10				1	1	1	2	5		
第七方面隊	小 計	126		1	2	5	5	9	14	89	1
	本 隊	3		1	2						
	羽根井分団	25				1	1	2	3	18	
	花田分団	27				1	1	2	3	20	
	牟呂分団	27				1	1	2	3	20	
	汐田分団	17				1	1	1	2	12	
吉田分団	27				1	1	2	3	19	1	
第八方面隊	小 計	71		1	2	4	4	5	9	43	3
	本 隊	3		1	2						
	下地分団	15				1	1	1	2	10	
	大村分団	15				1	1	1	2	10	
	津田分団	10				1	1	1	2	5	
前芝分団	28				1	1	2	3	18	3	

## 入退団状況

退団状況について（期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日）

退団者数	退団理由別退団者数				
	自己都合	定年・任期満了	死亡（公務）	死亡（その他）	その他
203人	203人	0人	0人	0人	0人

入団状況について（期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日）

入団者数	年齢別入団者数				
	21歳未満	21歳以上 31歳未満	31歳以上 41歳未満	41歳以上 51歳未満	51歳以上
127人	8人	46人	47人	24人	2人

## 階級別人員構成、平均年齢及び勤続年数

（令和6.4.1）

階級	人員	平均年齢	構成比率	平均勤続年数
団長	1人	55.0歳	0.10%	32.0年
方面隊長（副団長）	8人	42.8歳	0.77%	10.8年
方面隊副隊長（分団長）	16人	40.1歳	1.53%	8.6年
分団長	53人	36.1歳	5.08%	7.1年
副分団長	53人	36.8歳	5.08%	7.0年
部長	75人	35.1歳	7.18%	5.5年
班長	127人	33.9歳	12.16%	5.3年
団員	686人	34.8歳	65.71%	5.9年
機能別団員	25人	42.8歳	2.39%	10.2年
合計	1,044人	35.3歳	100.00%	6.1年

消防団の施設・機械・装備 配置状況

(令和6. 4. 1)

方面隊	分 団	器 具 庫	ホ ー ス 乾 燥 施 設	積 載 車		小 型 動 力 ポ ン プ
				普 通	軽 四	
	合 計	74	72	62	12	74
第一方面隊	小 計	11	11	7	4	11
	賀茂分団	1	1	1		1
	西郷分団	4	4	2	2	4
	玉川分団	3	3	2	1	3
	石巻分団	2	2	1	1	2
	嵩山分団	1	1	1		1
第二方面隊	小 計	11	11	11	0	11
	下条分団	1	1	1		1
	牛川分団	1	1	1		1
	東田分団	1	1	1		1
	旭分団	1	1	1		1
	多米分団	1	1	1		1
	岩田分団	1	1	1		1
	岩西分団	1	1	1		1
	つじが丘分団	1	1	1		1
	鷹分団	1	1	1		1
	豊飯村分団	1	1	1		1
第三方面隊	小 計	6	4	6	0	6
	向山分団	1	1	1		1
	新川分団	1		1		1
	八町分団	1	1	1		1
	松山分団	2	1	2		2
	松葉分団	1	1	1		1
第四方面隊	小 計	8	8	7	1	8
	二川分団	2	2	2		2
	二川南分団	2	2	1	1	2
	小沢分団	1	1	1		1
	谷川分団	1	1	1		1
	細谷分団	2	2	2		2
第五方面隊	小 計	12	12	7	5	12
	豊南分団	4	4	2	2	4
	高根分団	3	3	2	1	3
	老津分団	2	2	1	1	2
	杉山分団	2	2	1	1	2
	富士見分団	1	1	1		1
第六方面隊	小 計	12	12	12	0	12
	福岡分団	1	1	1		1
	栄分団	1	1	1		1
	磯辺分団	1	1	1		1
	大崎分団	1	1	1		1
	高師分団	1	1	1		1
	植田分団	1	1	1		1
	清水分団	1	1	1		1
	大野分団	1	1	1		1
	天依分団	1	1	1		1
	幸伯分団	1	1	1		1
	原分団	1	1	1		1
	中野分団	1	1	1		1
第七方面隊	小 計	9	9	8	1	9
	羽根井分団	2	2	2		2
	花田分団	2	2	2		2
	牟呂分団	2	2	2		2
	汐田分団	1	1	1		1
	吉田方分団	2	2	1	1	2
第八方面隊	小 計	5	5	4	1	5
	下地分団	1	1	1		1
	大村分団	1	1	1		1
	津田分団	1	1	1		1
	前芝分団	2	2	1	1	2

## 就業形態等の推移

### 全国の消防団員の被雇用者化の推移と豊橋市の状況

社会経済の進展により産業構造や就業構造は大きく変化し、日本の就業者の全体に占めるサラリーマンなど（以下「被雇用者」という。）の割合は、大幅に増加している。

全国の消防団員の被雇用者化の推移については、平成22年に70%を超えて以降、70%以上の割合であり、令和5年4月1日現在は72.8%（前年比-0.9%）となっている。（図1 全国の消防団員の被雇用者化の推移参照）

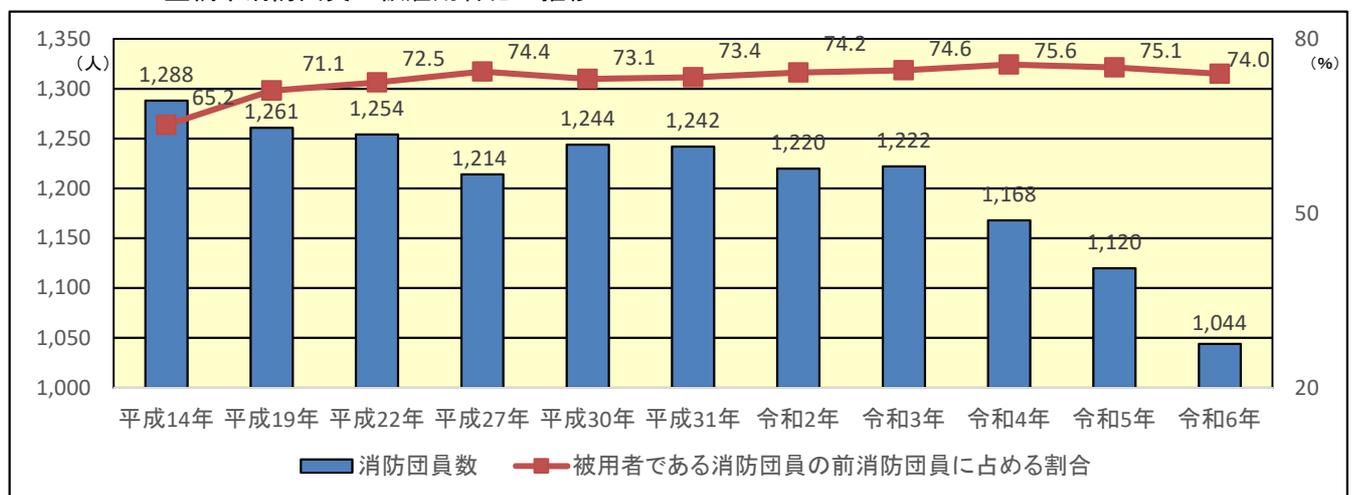
豊橋市の消防団についても消防団員全体に占める被雇用者の割合が平成19年度から70%を超えている状態が続き、全国的に課題とされている状況とほぼ同様である。被雇用者の割合は令和5年度の全国の被雇用者の割合に比べ約2.3ポイント高くなっている。（図2 豊橋市消防団員の被雇用者化の推移参照）

図1 全国の消防団員の被雇用者化の推移

令和5年版 消防白書より



図2 豊橋市消防団員の被雇用者化の推移



## 就業形態別団員数及び構成比率

(各年度4月1日現在)

年度	被用者	被用者のある ある自営	被用者のない ない自営	家族従業者	学生	その他	計
令和6年度	773人	24人	55人	167人	13人	12人	1044人
	74.04%	2.30%	5.27%	16.00%	1.25%	1.15%	100.00%
令和5年度	75.09%	2.41%	4.29%	15.71%	0.98%	1.52%	100.00%
令和4年度	75.60%	2.57%	4.11%	16.47%	1.54%	1.54%	100.00%
令和3年度	74.55%	3.03%	4.66%	16.47%	1.23%	1.23%	100.00%
令和2年度	74.18%	3.61%	4.43%	16.47%	1.31%	1.31%	100.00%
令和元年度	73.35%	4.51%	4.27%	16.67%	1.21%	1.21%	100.00%

## 消防団員数等の推移

(各年度4月1日現在)

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
団員数定員 (人)	1,257	1,259	1,248	1,248	1,248	1,230	1,119
団員数実員 (人)	1,244	1,242	1,220	1,222	1,168	1,120	1,044
女性団員数 (人)	17	17	13	16	12	13	13
機能別団員 (人)	45	47	51	51	51	40	25
平均年齢 (歳)	33.7	33.9	34.1	34.4	34.6	35.0	35.3

## 消防団員の報酬

(令和6. 4. 1)

区 分	団 長	副団長 (方面隊長)	分 団 長		副分団長	部 長	班 長	団 員
			方面隊 副隊長	分団長				
報酬年額	82,500	69,000	54,500	50,500	45,500	39,000	37,000	36,500